



「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」関連ワークショップ

みんぱく創設 50 周年記念企画展

食べるお茶——擂茶（れいちゃ）づくりで学ぶ客家の暮らし

2024

9/16（月・祝）、9/23（月・祝）

①10：45～12：45

各日2回実施

②14：15～16：15

定員：各回10名（事前申込制）

擂茶（れいちゃ）

落花生、かぼちゃの種、黒胡麻、烏龍茶などをすり潰して食す客家（はっか）に親しまれる飲食物のこと。

※使用する材料は裏面をご覧ください。



「客家擂茶」（画像提供：松茶商店）



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

このワークショップでは、企画展「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」を見学し客家の食と環境との関係についてまなびます。その後、擂茶づくりを体験しそれを味わうことをとおして農業や移動に特徴づけられる客家の暮らしと食文化についての理解を深めます。

日時：2024年9月16日(月・祝)、23日(月・祝)

①10:45～12:45 (10:15 から受付開始)
②14:15～16:15 (13:45 から受付開始)

会場：本館企画展示場ほか

講師：松本 学 (松茶商店 代表)
河合洋尚 (東京都立大学 准教授)
奈良雅史 (本館 准教授)

対象：小学生以上
※小学生の方は保護者も一緒にご参加ください(要参加費)

参加費：500 円
(大学生・一般の参加者は参加費のほかに要本館展示観覧券)

定員：各回 10 名
(事前申込制、先着順)



必ずご確認ください

以下の食材を調理し飲食をします。
アレルギーをお持ちの方は、ご注意ください。

落花生、かぼちゃの種、黒胡麻、烏龍茶、甘酒(米、米麴)、大豆(遺伝子組換えでない)、砂糖、白米、マルトデキストリン、大麦、豆乳粉(大豆、麦芽糖)、ぶどう糖、緑茶粉、とうもろこし、からす麦、緑豆、粟、オートミール、そば、小豆、花豆、黒目豆、たちなた豆、青えんどう豆、ひよこ豆、アーモンド、ひまわりの種、山芋、オニバスの実、アズキの種子、全粉乳

申込方法

受付期間：2024年8月8日(木) 10:00～
定員に達し次第受付終了

【イベント予約サイトからの申込】
<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>
イベント申込サイトはこちら▶▶



ご利用案内

- 開館時間…………… 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日…………… 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)
- 観覧料…………… 一般 580 円／大学生 250 円／高校生以下 無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約 15 分
 - バス…………… 阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約 13 分
 - 乗用車…………… 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約 5 分
- ※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

講師紹介

松本 学
(松茶商店 代表)

2014 年 3 月に台湾・台北のカフェで客家擂茶に出会い、優しく懐かしい味わいに心惹かれる。日本に帰国してからその味わいを探すが、販売しているところがほとんどなく、「それなら私が日本で販売しよう!」と松茶商店を立ち上げる。その後、偶然にも初めて客家擂茶を飲んだカフェが、台湾最大手の客家擂茶メーカーで、「単に擂茶とお金の交換だけでなく、我々の文化も伝えてほしい」という条件で取引がはじまる。そのため現在も対面販売にこだわっている。創業から 10 年、今も「旅するお茶屋」として客家擂茶を伝えるために日本各地を飛びまわっている。

河合 洋尚
(東京都立大学 准教授)

1977 年、神奈川県生まれ。2009 年、東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程修了。博士(社会人類学)。専門は社会人類学。景観、食、文化遺産を主要な研究テーマとする。中国南部(主に広東省)および環太平洋の漢族社会、客家社会を研究対象としてきた。[主要著作]『客家——歴史・文化・イメージ』(共著、現代書館、2019 年)『客家空間>の生産——梅県における「原郷」創出の民族誌』(風響社、2020 年)、『客家と日本』(編著、風響社、近刊)

奈良 雅史
(本館 准教授)

1982 年、北海道生まれ。2014 年、筑波大学大学院人文社会科学研究科博士課程修了。博士(文学)。専門は文化人類学。宗教、モビリティ、エスニシティを主要な研究テーマとする。中国南部(主に雲南省、浙江省)ならびに台湾において回族をはじめとするムスリム・マイノリティを中心とした調査を行なっている。[主要著作]『動きのなかの自律性：現代中国における回族のインフォーマルな宗教活動の事例から』(『文化人類学』80 号 3 巻、2015 年)、『多元化する台湾のムスリム・コミュニティ』(編著、上智大学イスラーム研究センター、2021 年)。

展示のご案内

みんぱく創設50周年記念企画展

客家と日本

——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史

2024年9月5日(木)～12月3日(火)

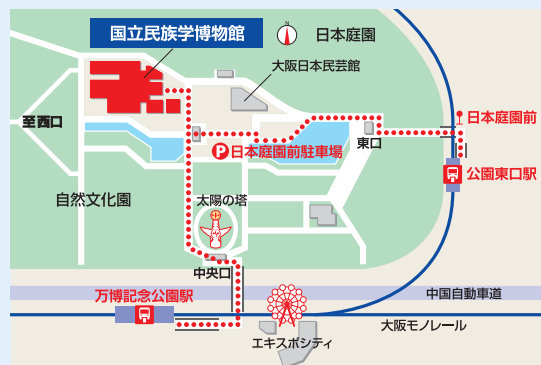
※本館展示観覧券で企画展もご覧いただけます。

【電話での申込】

次の必要事項をお知らせください。

- ①イベント名(希望日時/午前の部または午後の部)
- ②参加人数(代表者含め2名まで)③参加者全員の氏名、年齢 ④電話番号

[申込先] 企画課博物館事業係 ワークショップ予約受付
TEL:06-6878-8532(10:00～16:00 土日祝除く)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園 10 番 1 号
Tel:06-6878-8532 Fax:06-6875-0401
<https://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱく クリック